

IV 松本秀峰中等教育学校

1. 基本方針と主な取り組み

第一期生の中等教育学校 6 年間をあらゆる面から分析した。全学年で保護者アンケートを実施し、授業・行事・特別活動・進路指導などに対する保護者評価について把握。プロジェクトチームにて検討を重ね行事見直しを図るなど、項目別評価を考慮し様々な取り組みの見直しを図った。

また、生徒への授業アンケートを 1・2 学期末に実施し、授業改善に活かした。

進路指導では、東大・京大医学部など最難関大学への合格指導に注力し、東京大学 1 名・京都大学 3 名合格（内、特色入試 1 名）など現役での合格実績を積み上げることができた。また、生徒募集でも、本校の教育的成果を説得的に表す第一期生の進路実績を基に、それを裏付ける 6 年一貫教育システムのアドバンテージと独自の学力向上システムについて積極的にアピールし、志願者増となった。

2. 主な個別事業

1) 6 年一貫カリキュラムの強化

第一期生の進路実現状況を分析することにより、進路指導および生徒指導における 6 年間の指導システムを検証し、学年行事、生徒会、部活動等の見直しを図った。また、昨年に引き続き、自主的活動としての生徒会、部活動での組織再編および規約の整備を行った。

2) 授業および学習指導の強化

学習指導では、前期課程における補習体制を強化し、日常的に補習を実施。特に 1 学年では、PDCA サイクル (plan-do-check-act cycle) の導入により、主体的な学習の習慣化を図った。今後は前期課程全体で導入することとした。

また、昨年に続き、後期課程生の学習時間確保、学力伸長および受験対策の一助として放課後セミナーを充実させるとともに、進路指導部と 6 学年の連携を強化し、最難関大学への受験指導に注力した。

3) 学校生活等に係わる事項

通学時の電車マナーなども含め、「秀峰生らしさ」について考えながら日々行動することに心がけるよう指導。学年単位の取り組み強化と、年齢に応じた適切な指導内容の検討を随時行い、充実を図った。

4) 行事など取り組みの改善

秀峰祭では、これまで非公開としていた「イギリス海外研修報告会」を一般公開して実施。本校への入学を検討する児童・保護者や地域の方々の参加が見られ、高い評価をいただいた。

また、昨年同様、生徒会行事として 6 月にスポーツイベントを行ったが、これまでは PST の協力を得ながら実施してきたが、今回初めて企画から運営までを生徒のみで実施することができた。

5) イギリス海外研修

4 回目のイギリス海外研修を実施。国際情勢を鑑み、慎重に保護者と連絡を取りながら実施を決め、成功裏に研修することができた。過去の海外研修での反省を十分に生かしたプログラムとして充実した内容となった。

6) “特性・個性・才能の発見と育成”

「科学の甲子園」で有志生徒が積極的な活動を経て本校初の長野県代表となり全国大会への出

場を果たすなど、主体的活動を教員が支援する取り組みを充実させた。「なぎなた」「水泳」などの社会体育や「未踏プロジェクト（経済産業省所管）」など、学校外で活躍する生徒を「ふれあい集会」などで紹介する場を増やすことで、生徒一人ひとりの特性・個性の発見と育成を図った。

3. 生徒支援等

1) 健康管理

保健室に来室した生徒について教職員グループウェアによる速やかな情報共有を図り、保護者に安心と信頼をいただける対応に努めた。

2) パーソナルサポート

心の問題を抱えた生徒には、スクールカウンセラーによるカウンセリングを定期的実施（希望制）。場合によっては保護者のカウンセリングも行うなどの支援を行った。

3) PST 活動

新しい取り組みとして「子育てサロン」を実施。“保護者も学ぶ場”としての新しい要素を加えることができるとともに、生徒支援の一助ともなり、好評を得た。

4. 生徒の状況

1) 生徒の在籍状況（平成 29 年 3 月 31 日現在） ※今年度海外帰国生の編入は 0 名

1 学年 80 名（男子 42 名、女子 38 名） / 2 学年 79 名（男子 39 名、女子 40 名）
3 学年 85 名（男子 35 名、女子 50 名） / 4 学年 80 名（男子 42 名、女子 38 名）
5 学年 79 名（男子 41 名、女子 38 名） ※6 学年卒業時 76 名（男子 34 名、女子 42 名）

2) 生徒会（委員会・部活動）

何れの活動も上級生主導による自主的取り組みが顕著になってきた。生徒会活動では、これまで同様“考える”機会を設け、意識ある学校生活を指導した。

5. 進路状況 ※合格状況は別表の通り

卒業者数 76 名（男子 34 名、女子 42 名） / 合格者数 58 名 / 進学者数 52 名 / 就職者数 0 名

6. 教職員採用状況

平成 29 年度採用では複数回採用試験を実施。社会 2 名・数学 2 名・理科 1 名・英語 2 名・音楽 1 名・養護 1 名を新規に採用したが、国語での常勤採用ができず非常勤とした。平成 30 年度には国語・理科の採用を予定しているが、適任者を採用するため積極的な採用方法を講じたい。

7. 生徒募集・広報活動

第一期生の大学合格実績とこれまでの教育実践を最大限にアピールする募集活動を展開。初めて飯田・伊那・長野地区 3 会場での説明会を設定し、県内広域にわたり募集活動を行った。また中京圏での私立学校合同説明会へも資料参加するなど、積極的な情報発信を心掛けた。広報メディアとして医療業界の専門誌などを利用し、ターゲットを意識した広報も展開。全国高校大学合格一覧が掲載される「サンデー毎日」にも広告を掲載した。9 月からの個別学校説明や A 日程終了後の塾訪問などにより、B 日程受験生が大幅に増加した。

松本秀峰中等教育学校 平成29（2017）年度大学入試 合格状況

国立大学

大学	現役	既卒	計
北海道大学	2	1	3
茨城大学	1		1
筑波大学	1		1
群馬大学		1	1
東京大学	1		1
東京外国語大学		1	1
東京学芸大学	2		2
一橋大学	1		1
山梨大学		1	1
信州大学	3	1	4
富山大学	1	1	2
金沢大学		1	1
京都大学	3		3
奈良女子大学	1		1
合計	16	7	23

公立大学

大学	現役	既卒	計
高崎経済大学	1		1
横浜市立大学	1		1
合計	2		2

<医学部医学科>

大学	現役	既卒	計
群馬大学		1	1
富山大学		1	1
岩手医科大学	1		1
東京医科大学	1		1
合計	2	2	4

私立大学

大学	現役	既卒	計
岩手医科大学	1		1
獨協大学	1		1
国際武道大学	1		1
城西国際大学	1		1
千葉工業大学	1		1
青山学院大学	2	3	5
北里大学	2	1	3
杏林大学		1	1
慶應義塾大学	2	2	4
国際基督教大学	1		1
駒澤大学		1	1
芝浦工業大学	3	11	14
順天堂大学	1		1
上智大学	1	1	2
女子美術大学	1		1
中央大学	3	3	6
津田塾大学	1		1

私立大学

大学	現役	既卒	計
帝京大学	1		1
東海大学	1		1
東京有明医療大学	1		1
東京医科大学	1		1
東京経済大学	1		1
東京工科大学	2		2
東京農業大学	3		3
東京理科大学	6	2	8
日本大学	1		1
日本女子大学	4		4
日本女子体育大学	1		1
法政大学	3	1	4
明治大学	4		4
明治学院大学	1		1
立教大学	7		7
早稲田大学	4	3	7
麻布大学		1	1
神奈川工科大学	1		1
松陰大学	1		1
湘南医療大学	2		2
鶴見大学	1		1
横浜創英大学	1		1
佐久大学	1		1
松本大学	4		4
中京学院大学	1		1
中部学院大学	1		1
愛知学院大学	1		1
金城学院大学	1		1
椙山女学園大学	1		1
皇學館大學	1		1
京都造形芸術大学	1		1
同志社大学	4		4
佛教大学	2		2
立命館大学	2		2
龍谷大学	1		1
大阪芸術大学	1		1
近畿大学	1		1
関西学院大学	1		1
合計	93	30	123

その他

学校	現役	既卒	計
新潟医療技術専門	1		1
各種学校系	1		1
合計	2		2

卒業者数76名（男子34名，女子42名）